

# 京都十三佛霊場

## 【十三佛詣りとは】

数多い仏さまの中から特に慈悲深く、私達に直接救いの手を差し伸べてくださる代表的な仏さま十三尊を十三佛さまと信じてお祈りしております。昔より亡くなった人は十三佛さまによって罪科を除いていただき成仏されると信じられております。そこに十三佛霊場巡拝の意義があるのです。

## 【十三佛さま御真言】

- ①不動明王……のうまく、さまだ、ばざらだん、  
せんだまかろしゃだ、そわたや  
うんたらた、かんまん
- ②釈迦如来……のうまく、さまだ、ぼだなんはく
- ③文殊菩薩……おん、あらはしゃのう
- ④普賢菩薩……おん、さんまや、さとばん
- ⑤地藏菩薩……おん、かかかび、さんまえい、そわか
- ⑥弥勒菩薩……おん、まいたれいや、そわか
- ⑦薬師如来……おん、ころころ、せんだりまとうぎ、そわか
- ⑧観音菩薩……おん、ありきや、そわか
- ⑨勢至菩薩……おん、さんざん、ざんざく、そわか
- ⑩阿弥陀如来……おん、あみりた、ていせい、からうん
- ⑪阿閼如来……おん、あきしゅびや、うん
- ⑫大日如来……おん、あびらうんけん、ばざらだとばん
- ⑬虚空蔵菩薩……のうぼう、あきやしやぎやらばや  
おん、ありきや、まりぼり、そわか

## 第3番霊場 真言宗 準別格本山 丈六 戒光寺



お身代わりの丈六さんとして名高い戒光寺は、鎌倉時代の安貞2(1228)年、後堀河天皇の勅願寺として猪熊八条に創建されました。応仁元年に勃発した応仁の乱の戦禍を逃れ堀川一条東に移転。豊臣秀吉の時代には河原町三条に移転され、後水尾天皇の思召しによって泉涌寺塔頭として現在地に移転されました。本尊釈迦如来立像は、後水尾天皇を即位争いの暗殺より御命を救い、代わりに首元から血を流された故事により身代わり丈六釈迦如来と呼ばれます。「三人寄れば文殊の知恵」で有名な文殊菩薩は、普賢菩薩と共に釈迦三尊の脇佛として知られます。当山の文殊菩薩は、境内の泉山融通辨財天と共に智慧授けの佛として、また卯年の護り本尊として厚く信仰されています。

## 第4番霊場 臨濟宗 相国寺派 相国寺 塔頭 大光明寺



暦応2年(1339)、後伏見天皇女御・広儀門院(こうぎもんいん)西園寺寧子(さいおんじやすこ)が、夫君の菩薩を弔うため、夢窓国師を開山として伏見離宮の傍に創建された。門院は、壇林皇后・橘嘉智子(たちばなのかちこ)を追慕され、自ら大光明院と称されそれを寺号とされた。伏見宮始祖・崇仁(よしひと)親王が亡骸を寺内に葬り祀り、以来当寺は伏見宮歴代の菩提所となる。慶長19年(1614)、徳川家康により相国寺内に移転再興された。本堂の前は白砂が広がる石庭。また門内の庭は峨眉山の庭と呼ばれる。シーンと静まりかえった縁側で眺めると、時間を忘れる。

## 第1番霊場 真言宗 智山派 総本山 智積院



智積院の始まりは、豊臣秀吉が子供の菩提を弔うために、天正19年(1591)祥雲寺を建てましたが、その後、智積院第一世玄宥僧正によって中興開創されました。昔は教学道場として智慧(智恵)を積み、徳を磨く寺として栄えました。明王殿本尊の不動明王は、根来伝来の霊尊と伝えられ多くの参拝を集めています。

## 第2番霊場 浄土宗 (嵯峨釈迦堂) 清涼寺



嵯峨釈迦堂の名で知られる清涼寺は、嵯峨天皇の皇子河原左大臣源融(みなもととおる)の山荘菟園を前身としています。永延元年(987)、東大寺の僧尙然(ちょうねん)によって宋から請来された梅極釈迦瑞像を本尊とし、弟子の盛算が堂宇を建て清涼寺としました。庭園は江戸時代に小堀遠州によって作られたと伝えられるもので、仏像を鑑賞した後に眺め、当時を偲んでみるのもよい。

## 第5番霊場 浄土宗 六地藏 大善寺



大善寺の前の道は、伏見・京都(外環状線)への道と、黄檗・宇治(旧奈良街道)への道が交差する所で、今も昔も交通の要にあります。創建は、慶雲2年(705)に藤原鎌足の子、定慧によると伝えられ、開基は智証大師円珍で、当初は天台密教の寺であったが、平安時代末期から鎌倉時代にかけて、六地藏信仰が盛んになり、永禄4年(1561)、寺を再興し浄土宗大善寺と改めました。篋の刻んだ六体の地藏は、その後、京都の街道口の寺院に安置された。

## 第6番霊場 真言宗 泉涌寺派 総本山 泉涌寺



天長年間(824~833)、弘法大師 空海がこの地に一字を結び「法輪寺」と名付けられました。後に一時期「仙遊寺」と改称されています。承久元年(1219)に月輪大師俊柄(しゅんじょう)が後鳥羽上皇に上表して大伽藍を造営し寺地の一角から清水が湧き出たことから寺号を泉涌寺と改められました。我が国唯一の皇室の香華院(菩提所)で、境内には四条天皇以降多くの陵墓があり、靈明殿には歴代皇室の御霊が祀られています。泉涌寺を“御寺”と呼ばれるのはこうした理由から。仏殿の本尊は、釈迦、弥陀、弥勒の三尊仏で過去、現在、未来の三世にわたって人類の安泰と幸福を守っておられます。

第7番 霊場 真言宗 智山派 (因幡薬師) **平等寺**



長徳3年(997)、後の因幡の国司・橘行平は夢のお告げにより賀留津の海中から一体の薬師如来像を拾い上げ、仮堂に安置された。長保5年(1003)、行平は任を終え京へ帰ったが、薬師如来像も行平を追って飛来してきたため、自宅を寺としました。この靈験談はひろく伝わり、歴代天皇はじめ庶民の深い信仰をうけ、承安元年(1171)4月に高倉天皇から勅額を賜り「平等寺」となりました。しかし、たびたびの大災に遭い、寺地も次第に小さくなったが、明治初年再建の現本堂には、たび重なる火災にもかかわらず守られた本尊薬師如来立像が安置されています。薬師如来像は、一木作りの秀作で古来、長野・善光寺の阿弥陀如来、嵯峨・清涼寺の釈迦如来と共に、日本三如来に数えられている。

第8番 霊場 真言宗 智山派 (大報恩寺) **千本釈迦堂**



千本釈迦堂の名前で知られる大報恩寺は、承久3年(1221)、比叡山で基良澄憲に師事した。猫間中納言光隆の従者であった岸高という人が、自分の家を義空に寄進したので、その家を仮堂にして、釈迦如来像と十大弟子像を安置するのが始まり。貞応2年(1223)本堂建立に着手、嘉禎元年(1235)に諸堂を整え、俱舎、天台、真言三宗弘通の道場として輪命を受ける。本堂の棟木には安貞元年(1227)上棟と記されており、木造釈迦如来座像と木造十大弟子立像は、本堂とともに開創当時(鎌倉時代)のまま現代に伝えられている。京都の市街地で最古の建造物であり国宝。

第9番 霊場 真言宗 御室派 総本山 **仁和寺**



御室桜で名高い仁和寺は、仁和4年(888)第五十九代宇多天皇により創建されました。宇多天皇は、讓位後に御落飾、わが国で初めての法皇として仁和寺に室(僧坊)を営み、初代門跡となりました。以後、30数年のご生涯をここで過ごされたので、仁和寺は御室御所と敬称され、御室の地名ともなりました。応仁の乱により各堂舎が焼失しましたが、寛永年間、徳川第三代将軍家光公の支援により再興されました。筆頭門跡寺院としての歴史と格式を誇り、国宝や重要文化財等が数多い寺として、平成6年(1994)にユネスコ世界遺産に登録されています。

第10番 霊場 律宗 唐招提寺派 **法金剛院**



法金剛院は通称「蓮の寺」とも言われ、7月上旬から8月上旬の約1ヶ月間、境内では世界中から集められた蓮の花が咲き乱れる。文徳(もんとく)天皇が天安2年(858)に伽藍をたて、定額寺(じょうがくじ)に定め天安寺と改称された。さらに平安時代の末の大治5年(1130)、鳥羽上皇の中宮・待賢門院(たいけんもんいん)が西方極楽・弥陀世界を欣求(ごんぐ)され、この世に極楽浄土を求めて法金剛院とされた。鎌倉時代になって、門覚十万人上人が寺門を復興したが、応仁の乱(1399)や震災などで堂宇を失った。元和3年(1617)、照珍(しょうちん)和尚が本堂、経蔵等を復興されたが、旧に復すことは出来ませんでした。

第11番 霊場 真言宗 普通寺派 牛皮山 **隨心院**



隨心院は正暦二(991)年に弘法大師空海より数えて八代目の弟子にあたる仁海僧正によって建立され、当初は曼荼羅寺と称しておりました。後に曼荼羅寺の子院であった隨心院が鎌倉時代の寛喜元(1229)年に後堀河天皇より宣旨を賜って以来、隨心院門跡と称されております。承久の乱、応仁の乱などにより一時は全山灰燼に帰しますが、慶長四(1599)年に九条・二条の両摂家によって現在の本堂伽藍が寄進され、再建されました。

第12番 霊場 東寺真言宗 (教王護国寺) **東寺**



東寺は、延暦15年(796)桓武天皇が平安京造営のとき、西寺と共に新京の入口に創建された歴史あるお寺。平安京の大内裏(御所)から延びる朱雀大路の南端に、都への入口として羅城門が作られ、そこに王城鎮護のために、官立寺院として東側に東寺(別名・左寺)、西側に西寺(別名・右寺、現在存在しない)が建設された。平安京内の官寺はこの二つのみで、東寺は平安京の左京と東日本の守り寺として、弘仁14年(823)に嵯峨天皇が弘法大師空海に下賜されて以降、密教の根本道場として発展した。密教美術の宝庫として知られ、多くの国宝・重要文化財を有する。

第13番 霊場 真言宗 五智教団 **法輪寺**



法輪寺は、「十三まいり」のお寺として有名で、祀られている本尊の虚空蔵菩薩とは、智慧や財宝を無尽蔵にいれる蔵という意味。和銅6年(713)、元明天皇の勅願により創建され、「木上山葛井寺」と呼ばれた。清和天皇の貞観16年(874)に「法輪寺」と改められ、慶長11年(1606)、後陽成天皇から「智福山」の山号を賜り、以来「智福山法輪寺」として今日に至る。本尊の虚空蔵菩薩像は、中興開山の道昌大徳の作で、弘法大師が開眼供養せられ安置されたもの。靈験所として、平安時代から今日まで隆盛している。

【巡拝用品】

◎納経軸 20,000円 (朱印料500円)

◎納経帖 1,500円 (朱印料300円)

◆霊場各札所に御軸、帖が有ります。軸装し、お彼岸やお盆の時にお使いください。

また、京都の寺院巡りをかね、2日程の日程をおすすめいたします。

京都十三佛霊場会

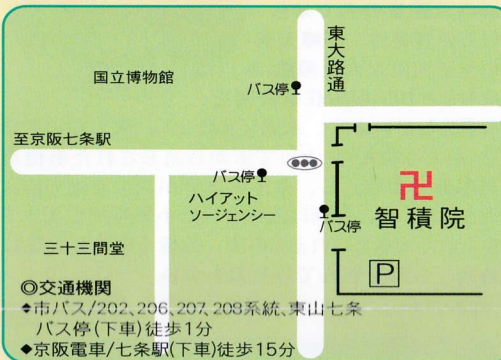
事務所 〒605-0951 京都市東山区東山七条  
総本山智積院内 法務部法務課  
TEL (075) 541-5362  
FAX (075) 541-5368

<http://kyoto.13butsu.org>  
2016年12月 発行

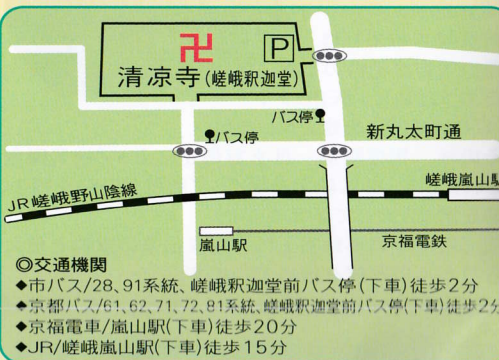
# 京都十三佛詣り 寺院の本尊・所在地

①	不動明王	智積院	〒605-0951 京都市東山区東大路七条下東瓦町964	TEL.075(541)5361	⑧	観音菩薩	千本釈迦堂	〒602-8319 京都市上京区七本松通今出川上ル	TEL.075(461)5973
②	釈迦如来	嵯峨釈迦堂	〒616-8447 京都市右京区嵯峨釈迦堂藤ノ木町46	TEL.075(861)0343	⑨	勢至菩薩	仁和寺	〒616-8092 京都市右京区御室大内33	TEL.075(461)1155
③	文殊菩薩	戒光寺	〒605-0977 京都市東山区泉涌寺山内町29	TEL.075(561)5209	⑩	阿弥陀如来	法金剛院	〒616-8044 京都市右京区花園扇野町49	TEL.075(461)9428
④	普賢菩薩	大光明寺	〒602-0898 京都市上京区烏丸上立売東入ル相国寺門前町701	TEL.075(211)0454	⑪	阿閼如来	随心院	〒607-8257 京都市山科区小野御霊町35	TEL.075(571)0025
⑤	地藏菩薩	大善寺	〒612-8013 京都市伏見区桃山町西町24	TEL.075(611)4966	⑫	大日如来	東寺	〒601-8473 京都市南区九条町一番地	TEL.075(691)3325
⑥	弥勒菩薩	泉涌寺	〒605-0977 京都市東山区泉涌寺山内町27	TEL.075(561)1551	⑬	虚空蔵菩薩	法輪寺	〒616-0006 京都市西京区嵐山虚空蔵山町68-3	TEL.075(861)0069
⑦	薬師如来	平等寺	〒600-8415 京都市下京区烏丸松原東入ル因幡堂町728	TEL.075(351)7724	各寺院のホームページもございます。事前の調べで豊かな旅のお詣りを。				

## 第1番霊場 智積院 料金 拝観 500円 open/am9:00~pm4:00



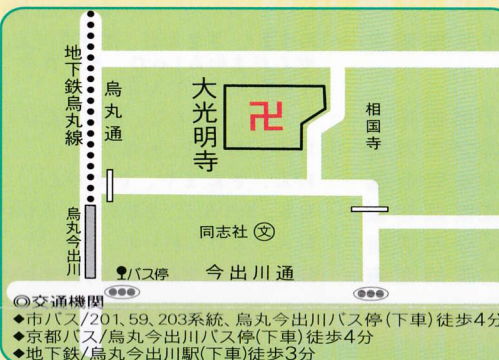
## 第2番霊場 清凉寺 料金 拝観 400円 open/am9:00~pm4:00



## 第3番霊場 戒光寺 料金 境内自由 open/am9:00~pm5:00



## 第4番霊場 大光明寺 料金 境内自由 open/早朝~pm4:00

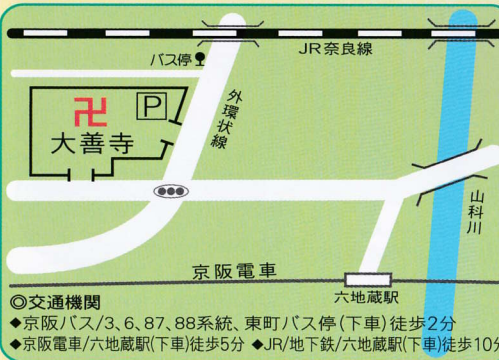


# 京都十三佛霊場

## 京都市内十三佛霊場 (第1番~13番ご案内)



## 第5番霊場 大善寺 料金 境内自由 open/am9:00~pm4:00



## 第6番霊場 泉涌寺 料金 拝観 500円 open/am9:00~pm4:30



### ご案内 略図

西芳寺(苔寺) 上桂 龍淵三路 至亀岡 丸塚女街道

#### 第13番 法輪寺

料金 境内自由  
open/am9:00~pm5:00

保津川(桂川) 嵐山公園 渡月橋

◎交通機関  
 ◆市バス/28系統、嵐山公園バス停(下車)徒歩5分  
 ◆京都バス/63、73、83系統、中ノ島公園バス停(下車)徒歩5分  
 ◆阪急電車/嵐山駅(下車)徒歩5分

#### 第12番 東寺

料金 拝観 500円  
open/am8:30~pm4:30

至京都駅 至京都駅八条口 八条通 東寺道 近鉄京都線 東寺駅 大宮通 九条通

◎交通機関  
 ◆市バス/18、特18、71、207系統、東寺前東門バス停(下車)徒歩1分  
 ◆近鉄電車/東寺駅(下車)徒歩5分

#### 第11番 随心院

料金 拝観 400円  
open/am9:00~pm4:30

名神高速道路 外環状線 小野小 小野駅 醍醐道

◎交通機関  
 ◆京阪バス/小野随心院口バス停(下車)徒歩3分  
 ◆山科急行バス/醍醐北団地バス停(下車)徒歩8分  
 ◆地下鉄東西線小野駅(下車)徒歩5分

京都南I.C. 名神高速道路

1 2 3 4 5 6 11 12 13

#### 第10番 法金剛院

料金 拝観 500円  
open/am9:00~pm4:00

天神川通 花園駅

◎交通機関  
 ◆市バス/91、93系統、花園扇野町バス停(下車)徒歩1分  
 ◆京都バス/61、62、63系統、花園扇野町バス停(下車)徒歩1分  
 ◆JR/花園駅(下車)徒歩2分

#### 第9番 仁和寺

料金 拝観 500円  
open/am9:00~pm4:30

仁和寺 宇多野駅 御室仁和寺駅

◎交通機関  
 ◆市バス/10、26、59系統、御室仁和寺前バス停(下車)徒歩1分  
 ◆京都バス/御室仁和寺バス停(下車)徒歩1分  
 ◆JRバス/高雄京北線、御室仁和寺前バス停(下車)徒歩1分  
 ◆京福電車/御室仁和寺駅(下車)徒歩3分

#### 第7番 平等寺

料金 境内自由  
open/am9:00~pm5:00

高辻通 東洞院通 鳥丸通 松原通

◎交通機関  
 ◆市バス/鳥丸高辻バス停(下車)徒歩2分  
 ◆京都バス/鳥丸高辻バス停(下車)徒歩2分  
 ◆地下鉄/鳥丸四条駅(下車)徒歩4分

#### 第8番 千本釈迦堂

料金 拝観 600円  
open/am9:00~pm5:00

千本釈迦堂 七本松通 今出川通

◎交通機関  
 ◆市バス/8、10、50、51、55、203系統、上七軒バス停(下車)徒歩5分

#### 泉涌寺

交通機関  
 ◆市バス/202、207、208系統、泉涌寺道バス停(下車)徒歩20分  
 ◆京阪電車/東福寺駅(下車)徒歩25分